

布に絵の具を塗ったものや、鉄の塊が「芸術」とされる所以は、どんな点にあるのだろうか？

一般的に有名な絵画や彫刻、オペラやダンスのような崇高でなにかとても価値が高いものや誰にもまねできない行為の事を「芸術」と言う。ではなぜそう言われるのか？「芸術」と「芸術ではないもの」の違いは何処にあるのであろうか？しかも、それをつり出す人を「芸術家」「アーティスト」と特別な言い方をする。いったい、どんな事をできる人がそう呼ばれるのか？そして「アール・ブリュット」という特別な言い方をしなくてはならない理由は、どこにあるのだろうか？

そのことを紐解くキーワードを3つあげる。

1つ目は「純粋芸術」「ファインアート」と言われる場合の「純粋」である。多様な創造力の中でも人間の尊厳を感じる崇高な精神性や豊かな心を「純粋」という。大衆的、商業的、作画的な行為とは対照的であり、その純度が高いほど研ぎ澄まされた人間力を感じる。

2つ目は、極限的で限界な状況に追い込まれた時や、どうしようもなく行わなければならない時の「切実」さである。生きていくことと同様に、つくらなければならない行為や表現の質をいう。例えば、震災で家や家族、お金も失い何もなくなった時に、生きていくために始める活動は、とても「切実」である。

3つ目は、この「純粋」な精神力を抱き、かつ「切実」な表現活動をし続けている人がつくり出す様々なモノや表現活動が、それまでの状態から他に類を見ない「逸脱」した存在となったときである。時に際立った表現でなかったものが、いつの間にか変化しはじめ、ある時に「逸脱」する存在感を獲得する。この逸脱の創造プロセスが重要である。

「純粋」で「切実」な行為や表現が「逸脱」した存在となったとき、私は、そこに「芸術」としか言いようのない状態を感じ取る。

何気なく紙に鉛筆でさらさらと描いたものに「芸術」を感じる時もある。何十年もかけてつくりだした壮大な建築でもまったく感じない場合もある。それは、私論だがこの「純粋」「切実」「逸脱」という3つのどれかが欠けているからである。いくら高価な材料でつくったとしても「純粋」性を感じなくては「芸術」とは言えない。「切実」な表現でないものは、いかに技術的に優れていても、人間的な魅力を喚起しない。「逸脱」していない状態は、いかに「純粋」で「切実」な表現であったとしても普通の表現しか感じ取れない。

そして「純粋」「切実」「逸脱」という3つの条件を獲得するには、集中力と持続力が必須である。その為の時間を生み出す生活環境がなくてはならない。日常に「芸術」は宿っているが故に「純粋」×「切実」×「逸脱」を生みだし、育み、伝える、日常的で社会に開かれた場が全国に必要である。

特に、アール・ブリュットと呼ばれる作品や作者には、「純粋」「切実」「逸脱」が強く宿っている。そのどの点も鋭く、熱く、深い。鑑賞者の心が洗い出される。だからこそアール・ブリュットが社会に開かれた場を設計する際の軸になり得るのである。

中村 政人
東京藝術大学 准教授
アーツ千代田3331 統括ディレクター



平成24年度 文化庁地域発・
文化芸術創造発信イニシアチブ



文化で滋賀を元気に！プロジェクト

【企画・編集】

アール・ブリュットガイドブック
企画編集会議

【文】

はた よしこ (1・4~26ページ)

【作品写真】

やまなみ工房 (4・5ページ)
鳥尾 佳佑 (14ページ)
高石 巧 (15ページ)
ぶるうむ此花 (16・17ページ)
大西 暢夫 (上記以外)

【デザイン】

(株)バード・デザインハウス

美の滋賀

四季折々の趣を見せる山々と日本一の琵琶湖が奏でる豊かな自然のシンフォニー。滋賀ではこうした穏やかな環境の中で、自然と共生する文化が育まれてきました。

滋賀の象徴ともいえる琵琶湖や里山に見られる自然や環境の美、整然とした棚田のあぜ道や琵琶湖のえり、大地からの湧き水をたたえるカバタ、あるいは伝統工芸に見られる生活の美意識。地域の暮らしに根付き、信仰と深く結びつく中で大切に守られてきた神と仏の美や行事。これらは、いわば、暮らしに根付いた日常の美であり、長い時間をかけて築き上げられた、滋賀ならではの身近な美があります。

それにとどまらず、世界に誇ることができるびわ湖ホールや独自のコレクションを持つ県立近代美術館など先端的な芸術拠点をもち、さらに、滋賀の福祉の歴史から生まれ育まれてきたアール・ブリュットを世界の舞台に送り出すなど、滋賀は新しい美の伝統をつくり続けています。

滋賀県ではこうした美を県民の誇りとし、県内外に伝えていくため、「美の滋賀」発信事業に取り組んでいます。



美の滋賀くらぶ アートマップ [web版]

<http://artmap.shiga-saku.net/>

もの、こと、ひと、場所…
身の回りの「美」を再発見し、発信していく「美の滋賀くらぶ アートマップ」はいつでも、だれでも、投稿できるwebサイトです。そして、投稿されたすべての方が「美の滋賀くらぶ」メンバーです。

あなたも「美の滋賀くらぶ」に参加しませんか？

あなたの
とっておきの
「美の滋賀」を
お寄せください。

